

## ひとめぼれチャレンジ 産地へのおたより



「おこめのたねが、おおきくなってよ！」息子の嬉しそうな声が聞こえました。

バルランダの青いバケツに種まきをしたのは5月半ばのことでした。  
以来、息子は「おこめのたね」と呼んで、「お米ができたからおにぎりのお弁当にして幼稚園に持って行く！」と張り切ってお世話をしています。その甲斐あって苗はすくすくと成長していました。

夏休みになり、おいちゃんの家へ2週間ほどお泊りしました。  
おいちゃんちの周りには田んぼがいっぱい。  
青々と風に揺れる稲を見て、息子は「おこめのたねがいっぱいあるね！」  
大興奮すると同時に「家の、おこめのたねは大丈夫かな？」  
とうちゃんは、「お水あげてるかな？」と心配するのでした。

あっという間に日にちが過ぎ、自動車と、飛行機と、電車に乗って、久しぶりの我が家に戻ってきました。  
玄関を開けるなり、「おこめのたねはー？」とバルランダへ飛んでいく息子。

そこには、背丈が倍に伸びて元気いっぱいにお日様を浴びているおこめのたねがありました。

台風にも負けず穂が出て花も咲き、今では稲穂が垂れつつあります。  
息子の弁当に入る日も、きっともうすぐです。